

会 議 録

会議名 (審議会等名)		平成 29 年度 第 2 回 相模原市総合計画審議会				
事務局 (担当課)		企画政策課 電話 0 4 2 - 7 6 9 - 8 2 0 3 (直通)				
開催日時		平成 29 年 8 月 3 日 (木) 10 時 00 分 ~ 11 時 30 分				
開催場所		相模原市役所 会議室棟 2 階 第 3 会議室				
出席者	委員	9 人 (別紙のとおり)				
	その他	0 人				
	事務局	4 人 (企画政策課長 他 3 人)				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	0 名
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		開会 1 議事 (1) 総合計画の概要について (2) 2 次評価の進め方について ア 部会の役割について イ 部会の日程について (3) その他 閉会				

審 議 経 過

主な内容は次のとおり

(委員の発言、 会長の発言、 事務局の発言)

開会 椎橋企画政策課長

1 議事

吉田会長の進行により議事に入った。

(1) 総合計画の概要について

本日の議事 (1) 「総合計画の概要について」事務局から説明願いたい。

事務局より資料の説明が行われた。

行政の範囲には限りがある中、市として何に重点を置いて取り組んでいくのか。

市として必ずやらなくてはならない事務が各分野にある中、特に注力すべきテーマ、事業について重点プロジェクトとして掲げているが、計画策定後の社会情勢の変化を踏まえ、近年は少子化対策、子どもの貧困対策に力を入れている。

一方、行政サービスを適切に市民に提供するには、着実に財政運営を行う必要があるが、そのためにはしっかり税収を確保していく必要があり、リニア駅新設に伴う橋本駅周辺の整備や補給廠の一部返還地を利用したまちづくりなど、長期的な投資にも力を入れていかなければならない。

財政面で課題を抱える中、各事業を行政が責任を持って実施する際にも、全額税金を投入するのではなく、市民、NPO、民間企業といった民間の多様な主体の力を借り、効率的に行うといった考え方に変わってきている。

5つの基本目標ごとに、どこまで目標達成しているかということを示せば、市民にとって分かりやすいのではないか。

複雑な分析結果は、市民の方に理解しづらいため、市民にとって一目で分かるよう、各施策において成果指標として目標値を設定した。

(2) 2次評価の進め方について

本日の議事(2)「2次評価の進め方について」事務局から説明願いたい。

事務局より資料の説明が行われた。

施策を構成する主な事業の直近の決算額を、特定財源と一般財源に分けて表示しているが、市民の視点に立って議論するというこの審議会の立脚点に鑑みると、特定財源のうち将来の負担となる地方債については、分けて表示すべきである。特に施設整備に係るものについては、この辺を整理しないと議論が混乱してしまう。

意見を踏まえ、表記の仕方について検討する。

各施策に対する市民一人当たりのコストや、可能であれば各年度の特定財源の内訳を基にヒアリングを行うことも効果的かもしれない。

改善工程表のサンプルに記載されたスケジュールは、予算要求のスケジュールと合っていないのではないかと懸念されている。予算の議決が3月になされるにもかかわらず、事業の検討が同月というのはいかがなものか。

10月中下旬に提出される建議書に基づき、今後の対応方針を定めているため、予算とセットになっている事業については、これに沿って次年度4月以降に概ね大枠でこんなことをやっていくという示し方にとどまってしまおう。

実際に行うこととなった事業の詳細については、モニタリングの際に質問をしていただき、それに対する回答等を踏まえて、評価していただければと思う。

総合戦略については、総合計画と別に2次評価するのか。

2次評価として総合戦略に対する意見をいただくことが望ましいと考えているが、総合戦略のみの評価をするということではない。

(3) その他

議事(3)「その他」について事務局から説明願いたい。

次回の審議会は部会終了後、10月以降に予定している。別途日程調整させていただきます。

他に意見等がないようなので、本日の議事は終了とする。

閉会 椎橋企画政策課長

以 上

相模原市総合計画審議会委員出欠席名簿

	氏 名	所 属 等	備 考	出欠席
1	荒井 容子	法政大学社会学部社会学科		出席
2	大谷 聡穂	公募		出席
3	金森 剛	相模女子大学人間社会学部 社会マネジメント学科	副会長	出席
4	栗田 愛子	公募		出席
5	高田 泉	公募		出席
6	中田 恭子	青山学院大学理工学部化学・生命 科学科		欠席
7	長野 基	首都大学東京都市環境学部建築都 市コース・大学院都市環境科学研 究科都市システム科学域		出席
8	西田 恵一郎	和泉短期大学児童福祉学科		出席
9	林 佳美	公募		出席
10	吉田 民雄	総合政策プランナー	会 長	出席